

(2026 年 7 月号掲載)

ゴルフに関するアンケート調査

群馬経済研究所 元 主任研究員 半田浩己

主席研究員 片貝弘明

調査のポイント

近年、ゴルフ場を取り巻く環境は、人口減少・高齢化の進行などを背景に、先行きの不透明感が強まっている。本調査では、個人と県内のゴルフ場を対象にアンケートを実施し、課題の整理と対応策の方向性について報告する。

要約

- 個人に対するインターネット調査では、現在ゴルフをプレーすると回答した人は 10.3%にとどまり、このうち 50 歳以上が過半数を占めた。
- 個人が今後ゴルフ場に求めるものは、「プレー料金の低料金化」が 66.7%、「予約のしやすさ」が 38.7%など、利便性向上へのニーズが高い。
- ゴルフ場経営における課題として、「施設の老朽化」が 81.8%と高く、次いで「人手不足」63.6%、「利用者の高齢化」45.5%が上位に挙げられた。
- 課題に対する改善策としては、「オンライン予約の強化」が 63.6%、「カートナビ導入」が 54.5%など、人手不足への対応とデジタル化による利便性向上・業務効率化を図る動きが多くみられた。

〈個人向けアンケート調査の概要〉

調査方法：インターネットによる調査

調査期間：2026 年 2 月下旬～3 月上旬

調査対象先：群馬県、栃木県、埼玉県、長野県、新潟県、東京都内に在住する
20 歳以上 70 歳未満の男女

回答者数：スクリーニング調査 16,502 名、本調査 555 名（現在ゴルフをしている人）

〈ゴルフ場向けアンケート調査〉

調査方法：郵送により配布、回収

調査期間：2026 年 3 月上旬

調査対象先：群馬県内のゴルフ場 63 先

回答者数：12 先（回答率 19.0%）